



令和元年6月定例月議会一般質問

## 31万人元気都市実現に向けて

市民目線で、中高生や若い世代にも興味を持ってもらえるように、分かりやすい質疑応答を心がけて質問しました。  
一日一生。その日が人生すべての一日だと思って全力で走り続けます！

### 子育て支援策

「子育てするなら四日市」ということで、市長は子育て支援を市の最重要政策の一つとしています。そこで医療分野から、安心して子育てしやすい四日市となっているかを質問しました。

#### (1) 子ども医療費窓口負担無料化、次の一手は？ (医療知識の普及、啓発)

平成30年度より未就学児のこども医療費の窓口負担が無料になりました。果たしてこの政策は本当に子育て支援に繋がるのでしょうか。市の認識について質問しました。

**Q** 初年度(H30)年度の未就学児の受診実績について教えてください。

**A** こども未来部長: 30年度利用件数267,893件、医療費4億3千万円。計画では昨年度より30%増を見込んでいたが、ほぼ横ばいであった。

**Q** この施策がコンビニ化と言われることへの認識、メリット、デメリットを教えてください。

**A** 子ども未来部長: メリットは、疾病の早期発見、早期療養の促進、経済的負担の軽減、利便性の向上などがあるが、デメリットとして、コンビニ化といわれる不要不急の受診があげられる。よって、市としても適正受診を進めていきたい。

**提案** 最大のデメリットは、より気軽に受診できることから、薬に頼る機会が増える、ということ。薬には主作用、副作用があり、薬を服用することで副作用というデメリットが発生する。薬を飲むより飲まずに済めばそれに越したことはない。よって、次の一手としては、窓口負担の対象年齢を引き上げるなど、制度的なものを広げることだけでなく、多くは若いお父さんお母さんである保護者の皆さんに、医療や薬に対する知識の普及、啓発することが、安心して子育てできることに繋がるのではないかと提案させていただきます。  
次の一手「医療・薬の知識について現場で啓発を！」



#### (2) 子宮頸がんワクチンのメリット・デメリットを分かりやすく伝えよう！(知識の向上)

前の質問で、医療・薬の知識の普及、啓発を提案したことに続き、その必要性をより感じていただけるようにと、この質問を取り上げました。現在、厚生労働省は、子宮頸がんワクチンを積極的に推奨していません。子宮頸がんワクチンに対する認識、考え方を聞きました。

# 31万人元気都市実現に向けて

**Q** 子宮頸がんワクチンの接種者数、接種者率など実績を教えてください。

**A** 健康福祉部長：接種者数の経緯は、H22年3,282件、H23年13,567件、H25年983件、H26年53件、H27年12件、H28年3件、H29年14件、H30年48件。国が推奨し始めた当初は多かったが、副反応の問題などがあり積極受診を進めなくなった25年から減少してきている。

**Q** 子宮頸がんワクチンは、副反応の問題がメディアでも取り上げられ、厚生労働省も平成25年から積極的に推奨するものでないとなりました。四日市市では平成28年度に一旦3名であった受診者が30年度には48名と増加傾向にあります。そこで、ホームページなどで正しい情報の発信をお願いするとともに、同ワクチンに対する市の認識を教えてください。

子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ (平28年3月6日刊)

現在、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。接種に当たっては、有効性とリスクを理解した上で受けてください。

子宮頸がん予防ワクチンの有効性とリスクについて、お知らせします。ワクチンの接種は、その有効性と接種による副作用（副作用とは「副反応」といいます）が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。

子宮頸がんは、こんな病気

子宮頸がんは、乳がんに次いで、若い女性に2番目に多いがんです。子宮頸がんは、女性の子宮の入り口部分（子宮頸部）にできる「がん」です。若い女性（20～39歳）がかかる「がん」の中では乳がんに次いで多く、女性の100人に1人が生涯にいずれかの時点で、子宮頸がんにかかるおそれがあります。年間約9,000人近くの人から子宮頸がんがみられ、27,000人近くの人がかかっています。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染が原因で起こるがんです。ヒトパピローマウイルス（HPV）には、100種類以上のタイプ（型）があり、そのうち、子宮頸がんの発生に関わるタイプは「高リスク型HPV」とよばれています。主に性行為によって感染します。海外では、性活動を行う女性の50%以上が、生涯に一度は感染するとみられ、感染しても多くは自然に排出されます。

子宮頸がんの約半分は、ワクチン接種によって予防できることが期待されています。ワクチンには、ヒトパピローマウイルス（HPV）の成分が含まれているため、接種することで免疫を育むことができます。HPVの感染を防ぐことができます。子宮頸がん予防ワクチンの接種は法律に基づいて実施されていますが、受けるかどうかは、接種することで得られるメリットとリスクを理解した上で、ご判断ください。

子宮頸がん予防ワクチンの効果

子宮頸がん予防ワクチンは世界保健機関（WHO）が接種を推奨し、多くの先進国では公的接種とされています。子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がん全体の50～70%の原因とされる2種類（16型・18型）のヒトパピローマウイルス（HPV）に予防効果があります。16型HPVとは乳がんの発生に関与する遺伝的物質（癌形成）を90%以上予防できたとの報告があり、これに引き続いて起こる子宮頸がんの予防効果が期待されています。

●子宮頸がんは数年～数十年にわたって、持続的にHPVに感染した後起こるとされています。  
●子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため、子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。

厚生労働省

報告があり、これに引き続いて起こる子宮頸がんの予防効果が期待されています。

- 子宮頸がんは数年～数十年にわたって、持続的にHPVに感染した後起こるとされています。
- 子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため、子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。



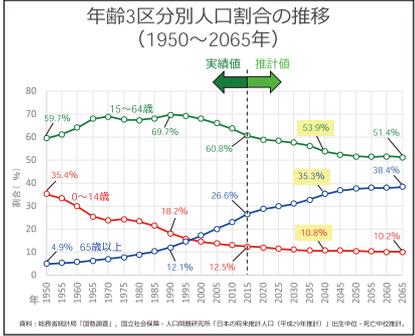
**A** 健康福祉部長：今回、早速、ホームページ改善しました。今後、市民の皆さんに正しい情報を提供していくことを心がけます。

**意見** ワクチンが良いか悪いかということではなく、受けるか受けないかの判断材料として、適切に情報提供していただきますようお願いいたします。また、適切な情報提供をしていくために、保健師が正しい情報を得られるよう研修などのスキルアップを要望します。正しい情報を市民の皆様にお伝えする。そしてそのために、保健師が正しい情報を得られるようにスキ

ルアップしていくことで、他市に負けない「子育てしやすい四日市」「子育て支援をしっかりとしている四日市」となっていくのではないのでしょうか。

## 少子高齢化、超少子高齢化、人口減少対策

今後20年、最重要課題の一つである少子高齢化からはじまる超少子高齢化社会、人口減少社会。それに対する市の認識と関連事業の元気づくり支援事業が正しく展開されているか質問しました。



### (1) 現代の重要課題「高齢者元気づくり支援事業」を盛り上げよう！（効果検証・改善）

**Q** 65歳以上が25%となり、20年後には40%にもなることが予測されている。今元気な高齢者が、一生自活できるような健康寿命の延伸を目指すことが最も大切だと考えるが、市の認識は？

**A** 健康福祉部長：要介護高齢者を減らすために元気づくり支援事業を実施している。市としても最重要課題の一つと認識している。

**Q** 元気づくり支援事業の中に「いきいき100歳体操」があるが、その目的、目標、内容、効果測定方法などを教えてください。

**A** 健康福祉部長：目的は「QOLの向上」「生きがい」など。目標は「筋力アップ」と「社会参加の機会を増やす」という二点。内容は重りを使って運動している。平成28年度から取り入れ、握力や開眼片足立ち、TUGなど、それぞれの項目で改善された。改善がみられたので、現在は開眼片足立ち、TUGを測定している。

**提案** 効果測定数も少数で、目的・目標に見合っていない内容があると感じる。31万人元気都市実現に向けて、高齢者の元気づくりが適切に推進されているか、今後、見守らせていただきたい。

# 31万人元気都市実現に向けて



## スポーツ環境

痛ましい事件、事故の多い昨今ですが、本市では公園でさえ安全確保できていないように、長年感じています。市の認識、今後の展開などについて質問しました。



(1) 誇れる中央緑地公園にしてください！  
(→安全・快適)

**Q** 霞ヶ浦緑地のトリムコースは利用者にとって危険箇所が沢山ある。今、国体工事中の中央緑地公園は安全な公園として完成しますか？

**A** 都市整備部長：霞ヶ浦のトリムコースの安全対策をさらに講じる。ホームレス退去の推進も図っている。

**A** スポーツ・国体推進部長：不審者対策など警備強化を図っている。駐車場の確保に努め、人と車の安全性を向上させる。

**意見** 霞ヶ浦緑地や中央緑地公園の過去と現在をみると非常に不安がある。工事後は過去と違い、しっかりと安全な公園となるのか。今後しっかり見届けていきたい。

(2) 誇れるハーフマラソン大会にしてください！  
(→特徴・人気)

**Q** 過去のマラソンイベントを見ていると、令和2年度、市政123周年イベントで開催予定のハーフマラソンが元気都市実現に向けた内容になっていないように感じる。目的、目標に対しての日程やコースの選定理由は？

**A** スポーツ・国体推進部長：コースは四日市ドームや北勢バイパスなどを通るコースを検討したが

断念。比較的平坦な走りやすいコースとして国道477号バイパスを通るコースとした。四日市を満喫できるコースである。日程は、今までのシティロードレースは4月第1週で実施していたが、人事異動したばかりで大変であったことから、雪の心配も考慮して3月とした。



**反対** コース選定で現状把握されてますか？コースは消去法で決まったと認識しました。日程理由も納得しづらい。今までシティロードレースを20回も実施してきた。たかが一つのスポーツイベントとは思わないでください！シティプロモーションにならないイベントなら目的にあっていないのではないですか？

## 防災対策

四日市市の防災体制、市民の皆様はどのように認識していらっしゃるでしょうか。安全に住み続けられる安心感が得られるかどうか質問しました。

(1) 津波対策や避難誘導、着実に進めていこう！  
(→周知・安心)

**Q** 3.11から8年、四日市はどんな防災対策をしましたか？

## 31万人元気都市実現に向けて

**A 危機管理監**：津波対策としての代表的なもの。  
①地域防災対策の見直し、②津波避難マップの作成、配布、③海拔表示シール貼り付け、④津波避難ビルの指定(民間121箇所)、⑤出前講座

**A 都市整備部長**：鉄塔、高架橋などの耐震化、緊急輸送指定道路関係の耐震対策、跨線橋などの耐震化など、国や県と連携して取り組んでいる。また、公園課としても地域要望に応じて様々な整備をしている。

**要望** 事前のヒアリングで詳しく聞かせていただきました。今の答弁でも大枠をお話いただきましたが、都市整備部さん、安心できました。国、県、市、民間が連携し、3.11以前からの事業もそれ以降の対策もしっかりと継続して活動しているなど理解できました。危機管理室さんのご答弁いただいたソフト面については、不安を感じます。8年も経過しました。市民の皆様、「四日市は3.11があって、今こんな風に対策していますよ。四日市の特徴はこうだからこういう対策なんですよ」こんな風に、誰もが分かりやすいソフト面の対策を講じていただきたいと思います。

### 道路環境

幼い命がなくなるなど痛ましい交通事故が後を絶ちません。事故事例をもとに本市ではどのように改善推進されているのか質問しました。

**(1)過去の交通事故事例をもとにした改善対応を徹底しよう！(→現状把握・協働)**

**Q** ちょうど一年前の平成30年6月18日、大阪北部地震により小学4年生の児童が小学校のブロック塀が倒壊しその下敷きになって命を落としました。そしてそのまた10年前の平成20年6月18日に

は、学校保健法が学校保健安全法に変わって制定された日でもあります。

一年経ち、四日市ではどのような対策を講じてきましたか？

**A 教育長**：国の通知により、学校のブロック塀の現場確認し、対応すべきブロック塀が22件ありました。フェンスへの改修や撤去を行いました。

**要望** 学校保険安全法は、学校が安全管理もしっかりやろうということで制定されました。今後も学校現場での詳細活動を教えていただきたいと思います。

### 最後に

最後までお読みいただきありがとうございました！  
質問内容、理事者(行政側)とのやりとりは分かりやすかったですでしょうか。

「市の活動が事業計画に見合ったものであるか？」  
「無駄な予算の使い方をしていないか？」  
「ほかにより良い方法はないか？」

理事者からヒアリングしつつ、自分の目で現場、現実、現物を確認自分で汗をかいて、元気都市実現に向けて活動し続けます。

ご意見やご感想、そして困り事などもございましたらどんどんお寄せください！



四日市市議会では、本会議のライブ中継・録画映像、委員会の様子について、インターネット配信をしています。  
四日市市議会ホームページの「インターネット会議中継」よりご覧いただけます。

■編集・発行 2019年9月発行

四日市市議会 市民eyes

四日市市諏訪町1-5  
Tel059-354-8257 Fax059-354-8304  
この広報紙は政務活動費により作成したものです。